

中部国際空港二本目滑走路 建設促進期成同盟会

第2回 総会

平成27年2月20日(金)
13時30分～14時20分
名古屋観光ホテル「那古の間」

【筒井愛知県航空対策課長】

大変お待たせ致しました。ただいまから、中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会 第2回総会を開催させて頂きます。

本日は、御多用の中、本会に御出席頂きまして、誠にありがとうございます。私は、愛知県地域振興部航空対策課長をしております筒井でございます。本日の進行役を務めさせて頂きます。どうぞよろしくお願ひ致します。

それでは、次第に従いまして進めさせて頂きます。まず、はじめに、本同盟会の会長であります大村秀章愛知県知事から御挨拶を申し上げます。

【大村会長（愛知県知事）】

皆さん、こんにちは。愛知県知事の大村秀章です。
中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会の会長を仰せつかっております。

本日は、同盟会総会に、多くの先生方に御出席頂きましてありがとうございます。また、中部国際空港拡充議員連盟会長の川崎二郎先生には、大変お忙しい中、お足をお運び頂きまして大変ありがとうございます。心から厚く厚くお礼申し上げる次第でございます。また、県議会・市会関係の皆様方、そして各県同盟会の関係の皆様にもお越し頂きましてありがとうございました。また、国土交通省の重田航空局次長様にも大変お忙しい中お越し頂きましてありがとうございました。

御案内のように、本同盟会は国際拠点空港に相応しい中部国際空港の二本目滑走路の実現を目指しまして、平成20年4月に設立されました。その後、中部国際空港は、リーマンショックを始めとした様々な環境変化による、長い需要の低迷を強いられてきたわけであります。ようやく少し回復の兆しが見えてきたということでございますが、まだまだ1,000万人に利用者が届いていないという状況でありまして、一番のピークが1,200万を超えておりますので、そういう意味では課題は沢山あると思っております。

ちょうど2月17日、今週が空港開港10周年ということあります。式典もございまして、10年というところが来たんだなと思いましたけれども、まだまだ課題ばかりという感じが致しますけれども、また、その課題を皆様とぜひ一緒に乗り越えていければと思っております。



また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2027年のリニア開業を見据えましても、モノづくりで日本経済を引っ張ってまいりました、この地域の果たすべき役割は大変重要でありまして、空の玄関、世界の玄関口であります中部国際空港の果たすべき役割も重要でございます。ぜひ、二本目滑走路の整備、そして完全24時間化を一日でも早く実現をしていきたいと思っております。

本同盟会の総会と致しましては、7年ぶりの開催ということでございますが、ぜひ、こうした思いを一つに致しまして、それを目標に向けて皆様のお力添えを頂きますよう、心からお願い申し上げる次第であります。

今日の会をスタートと致しまして、色々な取組、運動が盛り上がっていくことを心からお願いを申し上げまして、冒頭、会長としての御挨拶とさせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。

【筒井愛知県航空対策課長】

次に、本日、大変お忙しい中、御臨席を頂いております、御来賓の皆様から御挨拶を頂戴したいと存じます。はじめに、中部国際空港拡充議員連盟会長であられます衆議院議員 川崎二郎様から賜りたいと存じます。よろしくお願ひ致します。

【川崎中部国際空港拡充議員連盟会長】

皆さん、こんにちは。期成同盟会にこうして御参加の皆様方におかれましては、まさにこれから目標に向かって歩むわけでございますけれども、議員連盟も皆様方の歩速に合わせながらしっかりとやってまいりたいと思いますので御支援お願い申し上げます。

政権交代後、去年、議員連盟を新たに作り直しました。それまでは、鈴木政二先生と一緒に利活用を推進していこうと、議員連盟をやっておりました。

15年前に私、運輸大臣を致しました時は、この事業のちょうど起工式の時でございました。中部国際空港のように、計画通りに仕上がった空港はないのであります。

その後の利活用も、ある意味では順調にまいりましたけれども、リーマンショックから、極めて厳しい状況に追い込まれてきて、その後、あまり元気の



ない活動を展開致してまいりました。しかしながら、どうやら目標が見え始めてまいりましたので、同盟会の皆様方と一緒に我々議員サイドもしっかりとやろうじゃないかということでスタートさせて頂いたところでございます。

その中で、昨年私ども自民党でございますけれども、岐阜県、愛知県と三重県の議員で、この我が中部圏地域を日本の中で一番安定した定住圏に育てていくことができないかと取組を進めています。1億2,600万の日本の人口の内、この地域は1,150万、約1割でございます。しかし、これから何十年間か経ったら1億切るとか、6,000万人になるとか、いろんな数値が出ていますとおり、人口減社会に入っていくことは間違ひありません。もうひとつは、東京一極集中を止めないと、その人口減少社会は加速的に進むことになります。

従つて、この2つの条件から考えていったときに、やはり中核の地域をしっかりと作り上げていくことが大事であります。例えば、私どもが元気だと思うのは、北九州地域はかなり元気があるよう思います。また、新幹線がつながることになります北陸地域3県、これは出生率や工業や大学、こういったものがかなり良い数字を示してくるように思います。また、復興の中で、仙台を中心とした地域も、かなりこれから将来有望になっていくだろうと。

しかし、そうした地域と我々の地域を比較していくと、我々の方がもっと良いわけですねと。工業生産、トヨタさんを始めとしたモノづくりの力が強いわけでありますし、また、農業も決して弱い県、地域ではありません。そういう意味では、我々はこれからしっかりと果たすべきものを果たしていけば、この地域は安定した定住圏になるだろうし、安定した定住圏になれば、より多くの人がこの地域に住むようになって頂けるかもしれません。

昨日、私どもは介護と医療の勉強をさせて貰いました。私は今67歳でございますけれども、東京は、65歳を過ぎる者はこれから5年10年で2倍になりますよ。2倍になる。そうすると、いくら福祉施設を増やしても間に合いません。

実は、名古屋市も似たような状況にありそうでございますけれども、それをしっかりと考えていかなければなりませんね。その中で、私が先ほど言いました、岐阜と三重まで足した地域全体として、お年寄りのケアというものを考えていかないといけません。名古屋市だけでケアしようとしたら、とても無理な話になるだろうと思います。

いずれにせよ、我々の地域が一番安定した地域になって、そしてある意味では外国人も含めて引き寄せる力を持つ地域になっていけばいいだろうと、その

要素として何があるだろうかと考えなければなりません。

実は、愛知県の事務方の皆さん方にお力をお借りして色々とやっています。何と言ってもまず大学です。東大と名古屋大の差、学生数は、東大が14,000名で名古屋大が10,000名。その中で、大学の教授を見ると、東大が名古屋大の倍に。しかし、文科省の予算は、東大が3倍となっています。この3倍に膨らんだ予算の中で、どのぐらい東京に結果として集中していっているかということがあります。一番数字的に大きい、要は国の予算だけではなくて、膨らみがある予算です。より高度な人たちが集まつてくる可能性がある予算でございます。

それから、観光というものは、もう一つ大きなフレームワークになるだろうと、そういう意味では観光というものをしっかりとやろうとすれば、個々の県の取組ではいけませんし、加えて空港をしっかりとやって頂く以外ありません。

三重県知事も、台湾へ行つたり韓国へ行つたりしながら、外国人誘致を一生懸命やっています。一昨年は伊勢神宮で上手くいきましたけれども、その後のリバウンドが逆に心配なので、やはりカバーするとなれば、外国からどのくらいの方が来て頂けるかということに尽きるのではないかと思っています。

従つて、我々三重県もこのプロジェクトに対してしっかりと応援しながらやらせて頂かなければならぬだろうという風に思っております。

いずれにせよ、まだまだ課題が沢山あるように思いますけれども、東京に比べて足らない点をしっかりと補いながら、東京より素晴らしい地域を作り、まさに日本のへそとして、しっかりと発展していくように、我々も同盟会とともに頑張りたいと思います。

来年度は、中部国際空港についての国の予算は調査費だけになっておりますけれども、来年度には、この調査費を核とした、前を見た方向性を出して貰う時になってくるだろうと思いますので、調査費だけで終わらないように、前へ進んでいくように、しっかりと頑張りたいと思います。皆さんの御健闘の程お願い申し上げて、御挨拶とさせて頂きます。どうも、ありがとうございました。

【筒井愛知県航空対策課長】

どうもありがとうございました。続きまして、国土交通省航空局次長 重田雅史様、よろしくお願ひ致します。

【重田航空局次長】

御紹介預かりました国土交通省航空局の重田と申します。本日は、お招きありがとうございます。中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会の第2回総会の開催に当たりまして、一言御挨拶申し上げたいと思います。

本日、御臨席の皆様におかれましては平素より国土交通行政、とりわけ航空行政につきまして、日頃より格別の御理解と御協力を賜り、この場を借りて厚く御礼申し上げたいと思います。



はじめに、2月17日に開港10周年を迎えた中部国際空港につきまして、空港管理者であります中部国際空港株式会社を始め、日頃より様々な御協力御支援を頂いている御地元の自治体、経済界の皆様に深く御礼申し上げる次第であります。

中部国際空港につきましては、開港後、愛知万博の開催による効果などがありまして順調な滑り出しを達成することができました。しかしながら、その後様々なイベントリスクや経済情勢の影響などによりまして、残念ながら航空需要が低迷しておりました。このような状況の下、本同盟会を始め御地元の官民が一丸となって、中部国際空港のより一層の利活用に向けて取り組まれてきました結果、LCCや国際貨物便が新たに就航を開始し、利用状況が好転してきたところであります。改めて皆様方の取組に感謝申し上げたいと思います。

今後の中止国際空港につきましては、充実した国際国内の航空ネットワークを結ぶ、国際拠点空港として、その機能をより一層発揮するためには、戦略的な取組によりまして、現在回復の兆しが見られる需要を確実なものとするとともに一層拡大していくことが必要かと思います。そのためには、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会の開催、外国人旅行者数2,000万人の目標達成に向けた取組、そして2027年のリニア中央新幹線の名古屋開業など、今後確実に拡大することが見込まれる国内外の交流の変化を見据え、着実に中部圏全体で需要を取り込んでいくことが重要であります。本同盟会におかれましても、大いに盛り上げていただくとともに、さらなる御協力をお願い申し上げます。

国土交通省としましても、航空局が所有、運航致します7機の飛行検査機の拠点を羽田からこの中部に移転し、来年度から中部国際空港を拠点とした飛行

検査業務を展開することとしております。また、観光分野においても昇龍道プロジェクトへの支援など、最大限のバックアップをしてまいります。

このような本同盟会を始めとする地元の皆様と私どもが一体となった取組によりまして、中部圏への航空関連の業務・産業の集積や集客に弾みがつき、中部国際空港が中部圏の将来に向けた成長の原動力なることを、ひいては我が国全体の成長に寄与することを心から期待しております。

結びに、本総会への御臨席の皆様におかれましては、今後とも中部国際空港に対するより一層の温かい御支援・御協力を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げたいと思います。以上、簡単ではございますが、私からの御挨拶とさせて頂きます。本日はおめでとうございます。

【筒井愛知県航空対策課長】

どうもありがとうございました。

本日は、ただいま御挨拶を頂きました皆様の他にも、多くの方々に御臨席を頂いておりますので、御紹介申し上げたいと存じます。なお、順不同となりますことをあらかじめお許し頂きたく存じます。

【以下、来賓紹介】

また、本日の総会には、多数の御祝文を頂いております。会場入口にて御披露させて頂いておりますので、後ほど御覧頂ければと存じます。お名前のみ御紹介をさせて頂きます。

【以下、紹介】

御来賓の皆様方におかれましては、本日、大変御多忙なところ、御臨席を賜りまして、誠にありがとうございました。この総会が終了致しました午後2時半から隣の会場にて中部国際空港に関する講演会を予定しております。この後もお時間の許す限り、御聴講頂ければ幸いでございます。

【川崎中部国際空港拡充議員連盟会長】

ちょっと失礼します。航空局がみえるからお願いしたいのですが、羽田とか成田のプロジェクト進んでいますね。例えば、他言語翻訳というものがあります。タクシー全部に載せようとか、ホテルに置こうとか、飛行場には全部設置

しようとか。それから今経済産業省にやって貰っている東京を全部Wi-Fiにしようとか。すなわち、インターネットでテレビがそのまま流れる時代に変えてしまおうと思ってやっています。そうすると、インターネット使用率が増えますので、少し混乱します。そうしたことから、Wi-Fiを東京中に敷くことが計画されています。

今後、成田・羽田の航空需要や宿泊の需要は一杯となることが予想されます。その際には、名古屋、場合によっては大阪で入国して東京に行き、名古屋からの飛行機に乗って帰るといった人たちが沢山増えるのではないかでしょうか。

その時には、大阪と名古屋も対応できていないといけませんので、どうぞ、Wi-Fiの整備について東京と大阪・名古屋の差がつかないようにしてください。予算は、東京にしか付いていませんから。お願いします。

【筒井愛知県航空対策課長】

それでは、議事に入らせて頂きます。

総会の議長は規約に基づき、会長であります愛知県の大村知事が務めることとなっておりますので、よろしくお願い致します。

【大村会長（愛知県知事）】

それでは、議事を進めさせて頂きます。

次第に従いまして、中部国際空港の最近の状況について、まずは報告をお願いします。中部国際空港株式会社の川上社長、お願いを致します。

【川上中部国際空港株式会社社長】

中部国際空港の川上でございます。まずは今週17日にセントレアは開港10周年を迎えることができました。開港のはるか前から今日に至りますまで、御臨席の皆様方から多大な御支援を頂戴致しておりますことを、この場を借りて御礼申し上げたいと思います。

それでは、着席して御説明させて頂きます。前にパワーポイントがありますが、お手元にも資料をお配りしてございますので、御覧頂きたいと思います。



まずは、セントレアの歩み、先程来、話に出てございますとおり、2005年の開港以来リーマンショックまでは大変順調に来たわけですが、その後、政治・経済あるいは災害・疫病等々色々なイベントリスクを経験する中で、苦しい時期を経てまいりました。最近では、円安の進展に伴う訪日外国人需要の増等プラス要因もありまして、回復傾向にございます。ただ、羽田の国際線枠の発着拡大等、空港間競争が益々これから激化していく、こういうところでございます。

【パワーポイントにより説明】

【大村会長（愛知県知事）】

ありがとうございました。特に何か、御意見、御質問はありますか。折角の機会でございますので。よろしいですか。

この10年間の現状・経過などを御報告頂きました。先ほど、私も申し上げましたが、一時のボトムは脱したという感じはありますけれども、まだまだ課題は山積ということだと思いますので、その課題に向けて皆さんと一緒にしっかりと進めていきたいと思います。

さて、それでは、こうした状況を踏まえつつ、中部国際空港の二本目滑走路を始めとした機能強化の実現に向けて、私どもの決意を表明するため、本同盟会の決議を行いたいと存じます。

事務局が決議案を朗読致しますので、お聞き取り頂きたいと存じます。

【植田愛知県地域振興部長】

【決議案文を朗読】

【大村会長（愛知県知事）】

ただ今朗読いたしました決議案を、本総会における決議として採択したいと存じますが、御異議ございませんか。

【「異議なし」の声】

ありがとうございました。皆様の御賛同をいただきましたので、このように決定をさせていただきます。

この決議に基づいて、今後も、地域を挙げた取組を展開してまいりたいと存



じます。皆様方の一層の御協力をお願い申し上げます。

以上で議事は全て終了ということでございますが、河村さん、何かひと言ありますか。

【河村市長】

しっかりやってちょう。

【大村会長（愛知県知事）】

経済界の面々、名商細谷専務、何かありますか。よろしいですか。中経連伊藤専務はいかがですか。

【伊藤専務理事】

しっかり力を合わせてやっていきたいと思います。

【大村会長（愛知県知事）】

ありがとうございます。今日は岐阜県さん、三重県さん、その他経済関係の方にもお越しいただいておりますが、よろしゅうございますか。

それでは、この決議に基づきまして、様々な課題がありますけれども、しっかりと前に進めていけるように頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

それでは、以上で総会を終了させて頂きます。繰り返しになりますが、引き続き、同盟会役員、会員皆様のお力を頂きながら、取組を展開していきたいと思います。よろしくお願い致します。本日はありがとうございました。

【筒井愛知県航空対策課長】

以上をもちまして、中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会 第2回総会を終了したいと存じます。本同盟会の総会の開催につきましては、大変久しぶりとなりましたが、役員の皆様方におかれましては、引き続きお願いをしたいと存じます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(以上)

【文責：中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会事務局】